

伊那谷・経済動向

中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuschu-shinkin.jp/>

ALSHIN
BANK

| 主要指標 | | 今期 | 前年同期 | 前年同期比 |
|---|-----|----------------------|----------------------|-----------------|
| 有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内) | | 28/2 1.41 倍 | 27/2 1.17 倍 | 前年同月比 0.24 倍 |
| 電力使用量 (伊那営業所管内) | 電灯 | 12~2月 122,955千kwh | 12~2月 135,767千kwh | -9.44 % |
| | 電力 | 12~2月 258,900千kwh | 12~2月 266,059千kwh | -2.69 % |
| 自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内) | 新車 | 8,500 台 | 9,041 台 | -5.98 % |
| | 中古車 | 1,931 台 | 1,882 台 | 2.60 % |
| | 合計 | 10,431 台 | 10,923 台 | -4.50 % |
| 住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (上伊那地方事務所管内) | | 12~2月 138 件 | 12~2月 159 件 | -13.21 % |
| 駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数 (H26.12.15~H27.3.22運休) | | 8,505 人 | 1,033 人 | 723.33 % |
| 中央道利用台数 (伊北インター分) | 入 | 267,400 台 | 269,726 台 | -0.86% % |
| | 出 | 251,139 台 | 255,314 台 | -1.64% % |
| 中央道利用台数 (伊那インター分) | 入 | 358,088 台 | 364,391 台 | -1.73% % |
| | 出 | 366,897 台 | 372,826 台 | -1.59% % |
| 中央道利用台数 (駒ヶ根インター分) | 入 | 272,389 台 | 273,879 台 | -0.54% % |
| | 出 | 270,370 台 | 271,244 台 | -0.32% % |
| 中央道利用台数 (松川インター分) | 入 | 202,648 台 | 205,539 台 | -1.41% % |
| | 出 | 192,562 台 | 195,411 台 | -1.46% % |

前期10-12月 今期1-3月 来期4-6月 7-9月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先210社に対し、平成28年1月~3月期の景気の現状と平成28年4月~6月期の見通しを調査したものです。

地区内の景況観

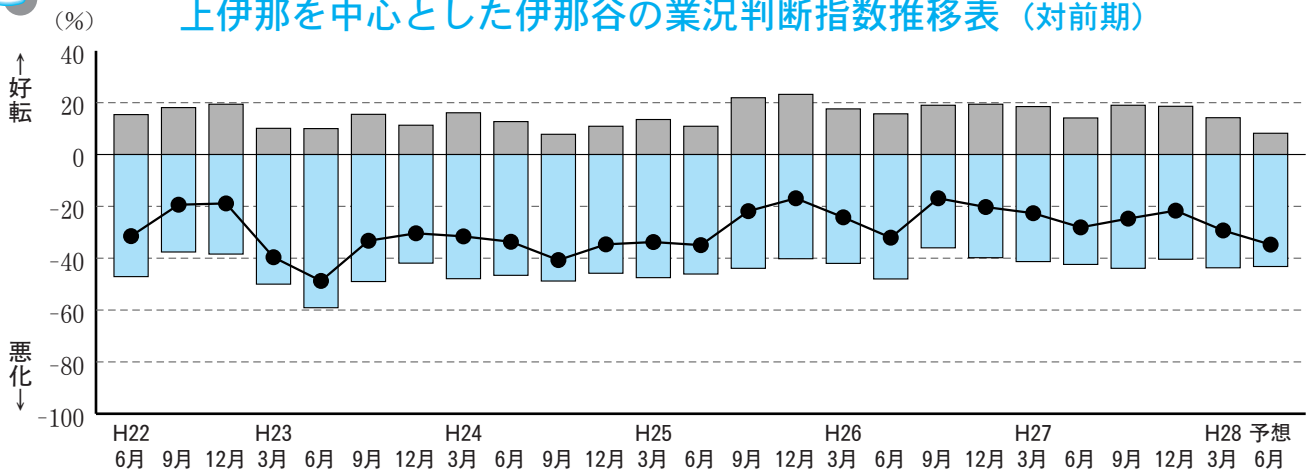
◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は14.2%（前期18.6%）、悪かったとする企業は43.7%（前期40.4%）、DIは▲29.5（前期▲21.8）と7.7ポイント悪化した。前期まで2期連続のマイナス幅縮小で推移したが、円高・株安や中国経済の減速の影響で低調感を強めている。

業種別のDIを見ると、**製造業▲23.8**（前期▲15.7）、**建設業▲34.1**（前期▲9.8）、**卸売業▲40.0**（前期▲10.0）、**小売業▲41.7**（前期▲44.4）、**サービス業▲29.6**（前期▲30.8）、**不動産業33.3**（前期▲20.0）となっており、不動産業以外の業種がマイナス領域となっている。前期と比較して、**製造業8.1ポイント**、**建設業24.3ポイント**、**卸売業30.0ポイント**悪化幅が強まった。一方で、**小売業2.7ポイント**、**サービス業1.2ポイント**とそれぞれ水面下ながら改善した。**不動産業は53.3ポイント**改善しプラスに転じた。

◇**来期の見通し**：来期の業況を総合的に見ると、DIは▲35.0（今期▲29.5）と5.5ポイント低下、景気判断はさらに悪化傾向を強める予想をしている。

業種別のDIを見ると、**製造業▲27.0**（今期▲23.8）、**建設業▲51.2**（今期▲34.1）、**卸売業▲10.0**（今期▲40.0）、**小売業▲47.3**（今期▲41.7）、**サービス業▲33.3**（今期▲29.6）、**不動産業16.6**（今期33.3）と、不動産業以外の業種がマイナス領域となっている。今期と比較して、**卸売業は30.0ポイント**悪化幅が縮小する見通しであるが、**製造業3.2ポイント**、**建設業17.1ポイント**、**小売業5.6ポイント**、**サービス業3.7ポイント**悪化幅が拡大、**不動産業は16.7ポイント**増勢が後退する見通しとなっている。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



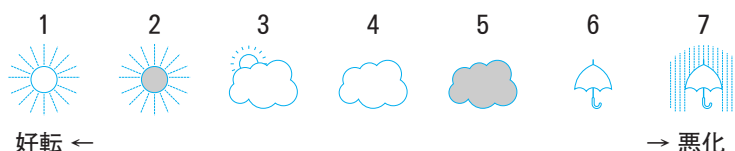
※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

業種別天気図

| 業種 | 時期 | 平成27年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成28年 |
|-------|----|-------|---------|-------|---------|
| | | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期予想 |
| 総合 | | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ |
| 製造業 | | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ |
| 建設業 | | ☁ | ☁ | ☁ | ☁ |
| 卸売業 | | ☔ | ☁ | ☔ | ☁ |
| 小売業 | | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ |
| サービス業 | | ☁ | ☔ | ☁ | ☔ |
| 不動産業 | | ☁ | ☁ | ☀ | ☁ |



製 造 業

(調査先企業 77 社 うち回答企業 63 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**14.3%**（前期**20.0%**）、悪かったとする企業は**38.1%**（前期**35.7%**）でDIは▲**23.8**（前期▲**15.7**）と**8.1**ポイント悪化した。

各指標別で見ると、売上額のDIは▲**17.5**（前期**1.4**）と**18.9**ポイント低下し水面下に落ち込んだ。受注残のDIは▲**11.1**（前期▲**5.7**）と**5.4**ポイント減少を強めた。収益のDIは▲**17.5**（前期▲**4.2**）と**13.3**ポイント減少を強めた。原材料価格は上昇した企業が**7.9%**（前期**15.7%**）、下降した企業が**11.1%**（前期**7.1%**）でDIは**3.2**（前期▲**8.6**）と上昇から下降へ転じ良好感が出た。販売価格は上昇した企業が**4.8%**（前期**0.0%**）、下降した企業が**7.9%**（前期**10.0%**）で、DIは▲**3.1**（前期▲**10.0**）と厳しさが和らいだ。資金繰りのDIは▲**12.9**（前期▲**22.9**）と**10.0**ポイント改善した。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲**9.5**（前年同期▲**5.6**）、収益はDI▲**17.5**（前年同期▲**15.5**）とそれぞれ**3.9**ポイント、**2.0**ポイント減少を強めた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DIは▲**27.0**（今期▲**23.8**）と**3.2**ポイント減少し悪化傾向を強める予想をしている。

各指標別で見ると、売上額はDI▲**27.0**（今期▲**17.5**）とさらに減少、受注残はDI▲**31.7**（今期▲**11.1**）と減少幅の拡大を予想している。収益はDI▲**19.0**（今期▲**17.5**）と低迷を予想している。資金繰りのDIは▲**16.1**（今期▲**12.9**）と厳しさが増す予想をしている。

◆DI指数推移

(%)

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 |
|-----------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 |
| 業 況 | ▲12.7 | ▲5.8 | ▲18.6 | ▲15.7 | ▲23.8 | ▲27.0 |
| 売 上 額 | ▲1.4 | 4.3 | 2.9 | 1.4 | ▲17.5 | ▲27.0 |
| 受 注 残 | ▲7.1 | ▲10.2 | ▲9.8 | ▲5.7 | ▲11.1 | ▲31.7 |
| 収 益 | ▲1.4 | ▲4.3 | ▲12.7 | ▲4.2 | ▲17.5 | ▲19.0 |
| 販 売 価 格 | ▲1.4 | ▲7.2 | ▲8.5 | ▲10.0 | ▲3.1 | ▲7.9 |
| 原 材 料 価 格 | ▲45.1 | ▲42.9 | ▲9.8 | ▲8.6 | 3.2 | 3.2 |
| 原 材 料 在 庫 | 14.1 | 11.6 | 8.5 | 7.1 | 6.3 | 1.6 |
| 資 金 繰 り | ▲14.0 | ▲17.4 | ▲16.9 | ▲22.9 | ▲12.9 | ▲16.1 |

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

(%)

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|-----------|---------|------|------|--------|-------|------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | |
| 借 入 実 施 | し た | 30.0 | 39.1 | 38.6 | 41.2 | 35.5 | 21.0 |
| | し ない | 70.0 | 60.9 | 61.4 | 58.8 | 64.5 | 79.0 |
| 借 入 難 易 度 | 容 易 | 10.0 | 2.9 | 11.3 | 8.7 | 11.5 | — |
| | 不 変 | 62.8 | 78.3 | 67.5 | 66.7 | 70.5 | — |
| | 難 | 12.9 | 5.8 | 8.5 | 14.5 | 8.2 | — |
| | 該 当 な し | 14.3 | 13.0 | 12.7 | 10.1 | 9.8 | — |

◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

(%)

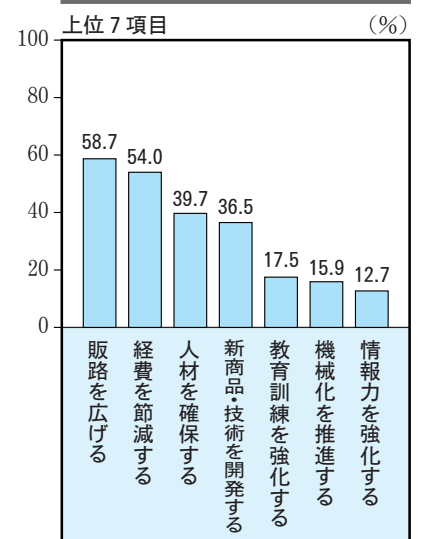
| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|-----|-------|-------|------|--------|-------|-------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | |
| 実 施 | し た | 41.9 | 43.0 | 44.6 | 43.0 | 31.0 | 36.2 |
| | し ない | 58.1 | 57.0 | 55.4 | 57.0 | 69.0 | 63.8 |
| 状 況 | 過 剰 | 11.3 | 2.9 | 15.5 | 5.7 | 4.8 | 5.1 |
| | 適 正 | 70.4 | 78.5 | 69.0 | 75.7 | 80.7 | 78.0 |
| | 不 足 | 18.3 | 18.6 | 15.5 | 18.6 | 14.5 | 16.9 |
| D I | ▲7.0 | ▲15.7 | 0.0 | ▲12.9 | ▲9.7 | ▲11.8 | |

◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

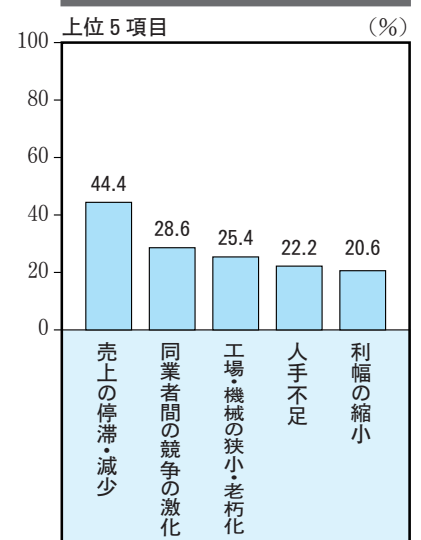
(%)

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|---------|-------|------|------|--------|-------|------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | |
| 残 業 時 間 | 増 加 | 33.8 | 22.9 | 15.5 | 18.6 | 15.9 | 3.2 |
| | 不 変 | 46.5 | 57.1 | 62.0 | 57.1 | 51.0 | 65.1 |
| | 減 少 | 19.7 | 20.0 | 22.5 | 24.3 | 33.1 | 31.7 |
| 人 手 | 過 剰 | 11.3 | 5.7 | 14.1 | 10.0 | 4.8 | 4.8 |
| | 適 正 | 67.6 | 75.7 | 53.5 | 58.6 | 64.6 | 67.8 |
| | 不 足 | 21.1 | 18.6 | 32.4 | 31.4 | 30.6 | 27.4 |

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



建設業

(調査先企業46社 うち回答企業41社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は12.2%（前期19.5%）、悪かったとする企業は46.3%（前期29.3%）で、DIは▲34.1（前期▲9.8）と24.3ポイント悪化した。

各指標別で見ると、売上額のDIは▲31.7（前期▲14.6）と17.1ポイント悪化した。受注残はDI▲36.6（前期▲4.8）と31.8ポイント悪化した。施工高はDI▲24.4（前期▲12.2）と12.2ポイント悪化した。収益はDI▲39.0（前期▲19.5）と19.5ポイント悪化した。価格面では請負価格がDI▲19.5（前期0.0）と価格が下降したとする企業の割合が増加した。材料価格はDI▲20.0（前期▲29.3）と価格が上昇したとする企業の割合が減少した。資金繰りについては、DI▲46.3（前期▲22.0）と24.3ポイント悪化した。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲46.3（前年同期▲10.0）、収益はDI▲48.8（前年同期▲15.0）とそれぞれ36.3ポイント、33.8ポイント減少を強めた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI▲51.2（今期▲34.1）と17.1ポイント減少し悪化傾向を強める予想をしている。

各指標別で見ると、売上額はDI▲22.0（今期▲31.7）と9.7ポイント改善する見通しである。受注残はDI▲24.4（今期▲36.6）と12.2ポイント改善する見通しである。収益はDI▲34.2（今期▲39.0）と4.8ポイント改善する見通しである。請負価格はDI▲34.1（前期▲19.5）と価格が下降したとする企業の割合がさらに増加、材料価格はDI▲17.5（前期▲20.0）と価格が上昇したとする企業の割合がさらに減少する見通しである。資金繰りはDI▲39.0（今期▲46.3）と7.3ポイント改善する見通しである。

※「売上高＝完成工事高」、「施工高＝出来高」、「請負価格＝受注額」

◆DI指数推移

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 |
|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 |
| 業 況 | ▲5.0 | ▲24.4 | ▲12.2 | ▲9.8 | ▲34.1 | ▲51.2 |
| 売 上 額 | ▲12.5 | ▲26.8 | ▲12.5 | ▲14.6 | ▲31.7 | ▲22.0 |
| 受 注 残 | ▲22.5 | ▲17.1 | ▲7.5 | ▲4.8 | ▲36.6 | ▲24.4 |
| 収 益 | ▲20.0 | ▲29.3 | ▲27.5 | ▲19.5 | ▲39.0 | ▲34.2 |
| 請 負 価 格 | ▲10.0 | ▲7.3 | ▲17.5 | 0.0 | ▲19.5 | ▲34.1 |
| 材 料 価 格 | ▲25.0 | ▲41.5 | ▲30.0 | ▲29.3 | ▲20.0 | ▲17.5 |
| 在 庫 | 7.5 | 7.3 | 2.5 | 5.0 | 4.9 | 2.4 |
| 資 金 繰 り | ▲27.5 | ▲26.8 | ▲28.2 | ▲22.0 | ▲46.3 | ▲39.0 |

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|-----------|-------|------|------|--------|-------|------|------|
| | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 | |
| 借 入 実 施 | した | 43.6 | 37.5 | 47.5 | 53.7 | 56.4 | 50.0 |
| | しない | 56.4 | 62.5 | 52.5 | 46.3 | 43.6 | 50.0 |
| 借 入 難 易 度 | 容 易 | 10.5 | 4.9 | 10.0 | 7.9 | 10.3 | — |
| | 不 変 | 68.4 | 58.5 | 67.5 | 65.8 | 53.8 | — |
| | 難 | 13.2 | 17.1 | 12.5 | 18.4 | 25.6 | — |
| | 該当なし | 7.9 | 19.5 | 10.0 | 7.9 | 10.3 | — |

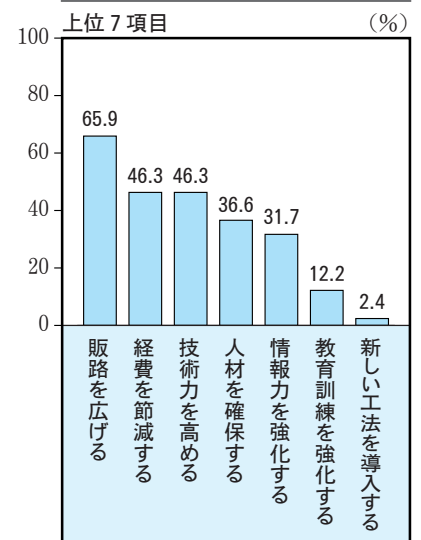
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|-----|-------|------|-------|--------|-------|-------|------|
| | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 | |
| 実 施 | した | 40.0 | 37.3 | 31.9 | 53.2 | 32.6 | 31.1 |
| | しない | 60.0 | 62.7 | 68.1 | 46.8 | 67.4 | 68.9 |
| 状 況 | 過 剰 | 0.0 | 4.9 | 2.4 | 2.4 | 2.4 | 4.9 |
| | 適 正 | 90.0 | 80.5 | 78.1 | 75.6 | 80.5 | 75.6 |
| | 不 足 | 10.0 | 14.6 | 19.5 | 22.0 | 17.1 | 19.5 |
| DI | ▲10.0 | ▲9.7 | ▲17.1 | ▲19.6 | ▲14.7 | ▲14.6 | |

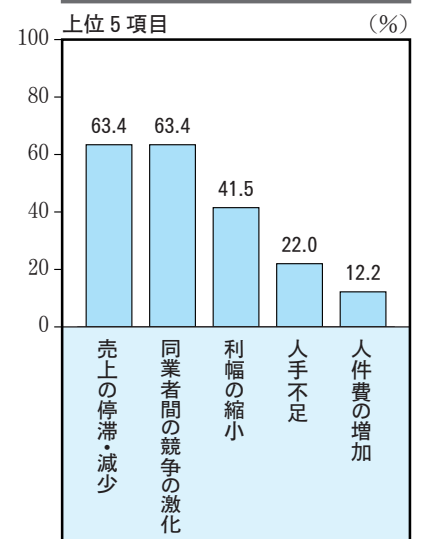
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|-------|-------|------|------|--------|-------|------|------|
| | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 | |
| 残 業 間 | 増 加 | 15.0 | 9.8 | 7.7 | 12.2 | 0.0 | 7.3 |
| | 不 変 | 75.0 | 63.4 | 79.5 | 70.7 | 80.5 | 78.1 |
| | 減 少 | 10.0 | 26.8 | 12.8 | 17.1 | 19.5 | 14.6 |
| 人 手 | 過 剰 | 7.5 | 10.0 | 14.6 | 4.9 | 14.6 | 17.1 |
| | 適 正 | 55.0 | 65.0 | 56.1 | 63.4 | 65.9 | 60.9 |
| | 不 足 | 37.5 | 25.0 | 29.3 | 31.7 | 19.5 | 22.0 |

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



卸 売 業 (調査先企業 11 社 うち回答企業 10 社)

◇今期の業況：今期の業況は、良かったとする企業は10.0%（前期10.0%）で、悪かったとする企業は50.0%（前期20.0%）でDI▲40.0（前期▲10.0）と30.0ポイント悪化した。

各指標別に見ると、売上額のDIは▲60.0（前期20.0）、収益のDIは▲60.0（前期30.0）とそれぞれ80.0ポイント、90.0ポイント大幅下降し水面下に落ち込んだ。販売価格はDI▲10.0（前期10.0）と上昇から下降へ転じた。仕入価格のDIは0.0（前期▲30.0）と価格の上昇が弱まった。資金繰りはDI▲20.0（前期10.0）と30.0ポイント下降し窮屈感が現れた。借入れをした企業は50.0%（前期20.0%）、設備投資の実施をした企業は30.0%（前期10.0%）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI0.0（前年同期▲22.2）と改善し、収益はDI▲10.0（前年同期▲11.1）と僅かに良化した。

◇来期の見通し：来期の見通しについては、DI▲10.0（今期▲40.0）と30.0ポイントの悪化幅縮小を予想している。各指標別で見ると、売上額のDIは20.0（今期▲60.0）、収益のDIは20.0（今期▲60.0）と、それぞれ80ポイント大幅に上昇、水面下を脱すると予想している。販売価格はDI▲10.0（今期▲10.0）と今期同様に推移すると予想している。仕入価格はDI▲10.0（今期0.0）と1割の企業で価格が上昇すると予想している。借入れを予定している企業は30.0%（今期実施50.0%）、設備投資の実施を予定している企業は10.0%（今期実施30.0%）となっている。

◆DI指数推移

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 |
|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 |
| 業 況 | ▲11.1 | ▲30.0 | ▲30.0 | ▲10.0 | ▲40.0 | ▲10.0 |
| 売 上 額 | ▲44.5 | ▲10.0 | ▲20.0 | 20.0 | ▲60.0 | 20.0 |
| 収 益 | ▲33.3 | 20.0 | ▲20.0 | 30.0 | ▲60.0 | 20.0 |
| 販 売 価 格 | 33.3 | 30.0 | 20.0 | 10.0 | ▲10.0 | ▲10.0 |
| 仕 入 価 格 | ▲66.7 | ▲40.0 | ▲30.0 | ▲30.0 | 0.0 | ▲10.0 |
| 在 庫 | 22.2 | 20.0 | 20.0 | 40.0 | 40.0 | 30.0 |
| 資 金 繰 り | ▲22.2 | 10.0 | ▲20.0 | 10.0 | ▲20.0 | ▲20.0 |

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|-----------|-------|------|------|--------|-------|------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | |
| 借 入 実 施 | した | 44.4 | 30.0 | 40.0 | 20.0 | 50.0 | 30.0 |
| | しない | 55.6 | 70.0 | 60.0 | 80.0 | 50.0 | 70.0 |
| 借 入 難 易 度 | 容 易 | 0.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 20.0 | — |
| | 不 変 | 77.8 | 60.0 | 70.0 | 70.0 | 70.0 | — |
| | 難 | 11.1 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — |
| | 該当なし | 11.1 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 10.0 | — |

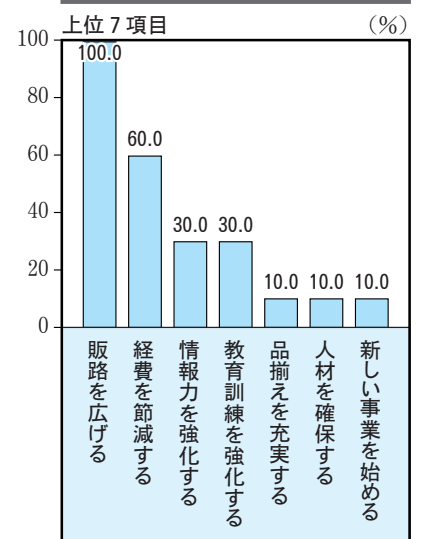
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|-----|-------|-------|------|--------|-------|------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | |
| 実 施 | した | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 10.0 | 30.0 | 10.0 |
| | しない | 100.0 | 80.0 | 100.0 | 90.0 | 70.0 | 90.0 |
| 状 況 | 過 剰 | 11.1 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 |
| | 適 正 | 77.8 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 |
| | 不 足 | 11.1 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 |
| DI | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |

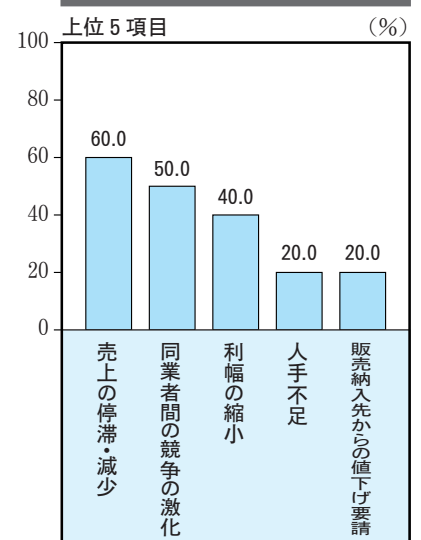
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|---------|-------|------|-------|--------|-------|------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | |
| 残 業 時 間 | 増 加 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 |
| | 不 変 | 77.8 | 100.0 | 100.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 |
| | 減 少 | 22.2 | 0.0 | 0.0 | 10.0 | 10.0 | 0.0 |
| 人 手 | 過 剰 | 22.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 30.0 | 0.0 |
| | 適 正 | 55.6 | 100.0 | 80.0 | 100.0 | 70.0 | 90.0 |
| | 不 足 | 22.2 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 10.0 |

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



小 売 業 (調査先企業 40 社 うち回答企業 36 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**13.9%**（前期**16.7%**）、悪かったとする企業は**55.6%**（前期**61.1%**）で、DI▲**41.7**（前期▲**44.4**）と**2.7**ポイント改善、3期連続してマイナス幅が縮小した。

各指標別に見ると、売上額のDIは▲**13.8**（前期▲**5.5**）と**8.3**ポイント減少した。収益のDIは▲**11.1**（前期▲**11.1**）と前期と同じ減少幅で推移した。販売価格のDIは▲**13.9**（前期**0.0**）と価格の下降が強まった。仕入価格のDIは▲**5.5**（前期▲**16.7**）と**11.2**ポイント上昇し好感が強まった。資金繰りのDIは▲**25.0**（前期▲**22.3**）と**2.7**ポイント悪化した。借入れをした企業は**19.4%**（前期**19.4%**）、設備投資の実施をした企業は**16.7%**（前期**11.1%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲**47.2**（前年同期▲**57.9**）、収益はDI▲**33.4**（前年同期▲**47.4**）と、それぞれ**10.7**ポイント、**14.0**ポイント改善した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI▲**47.3**（今期▲**41.7**）と**5.6**ポイント減少、3期連続で持ち直したが業況感が落ち込む予想をしている。

各指標別で見ると、売上額のDIは▲**27.8**（今期▲**13.8**）、収益のDIは▲**27.8**（今期▲**11.1**）と、それぞれ**14.0**ポイント、**16.7**ポイント悪化を予想している。販売価格のDIは**8.3**（今期▲**13.9**）と好転を予想している。仕入価格のDIは▲**16.6**（今期▲**5.5**）と好感は弱まる予想をしている。借入れを予定している企業は**16.7%**（今期実施**19.4%**）、設備投資の実施を予定している企業は**22.2%**（今期実施**16.7%**）となっている。

◆DI指数推移

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 |
|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 |
| 業 況 | ▲37.9 | ▲62.9 | ▲59.5 | ▲44.4 | ▲41.7 | ▲47.3 |
| 売 上 額 | ▲44.8 | ▲42.8 | ▲37.9 | ▲5.5 | ▲13.8 | ▲27.8 |
| 収 益 | ▲36.8 | ▲60.0 | ▲46.0 | ▲11.1 | ▲11.1 | ▲27.8 |
| 販 売 価 格 | ▲21.0 | 2.9 | 0.0 | 0.0 | ▲13.9 | 8.3 |
| 材 料 価 格 | ▲18.4 | ▲40.0 | ▲18.9 | ▲16.7 | ▲5.5 | ▲16.6 |
| 在 庫 | 13.1 | 8.6 | 10.8 | 22.3 | 22.2 | 5.5 |
| 資 金 繰 り | ▲15.7 | ▲53.0 | ▲29.7 | ▲22.3 | ▲25.0 | ▲25.0 |

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 |
|-----------|-------|------|------|--------|-------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 |
| 借 入 実 施 | した | 23.7 | 14.3 | 16.2 | 19.4 | 16.7 |
| | しない | 76.3 | 85.7 | 83.8 | 80.6 | 83.3 |
| 借 入 難 易 度 | 容 易 | 13.5 | 20.6 | 16.7 | 11.1 | — |
| | 不 変 | 51.4 | 41.1 | 41.6 | 47.2 | — |
| | 難 | 10.8 | 11.8 | 16.7 | 13.9 | — |
| | 該当なし | 24.3 | 26.5 | 25.0 | 27.8 | — |

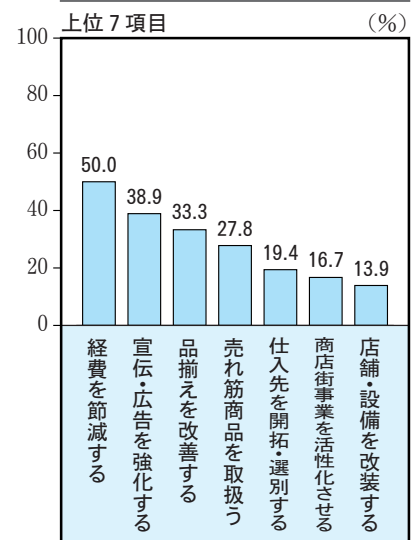
◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 |
|-----|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 |
| 実 施 | した | 14.6 | 13.9 | 15.8 | 11.1 | 16.7 |
| | しない | 85.4 | 86.1 | 84.2 | 88.9 | 83.3 |
| 状 況 | 過 剰 | 5.4 | 3.0 | 8.6 | 9.1 | 2.8 |
| | 適 正 | 75.7 | 66.7 | 71.4 | 69.7 | 69.4 |
| | 不 足 | 18.9 | 30.3 | 20.0 | 21.2 | 27.8 |
| DI | ▲13.5 | ▲27.3 | ▲11.4 | ▲12.1 | ▲25.0 | ▲23.5 |

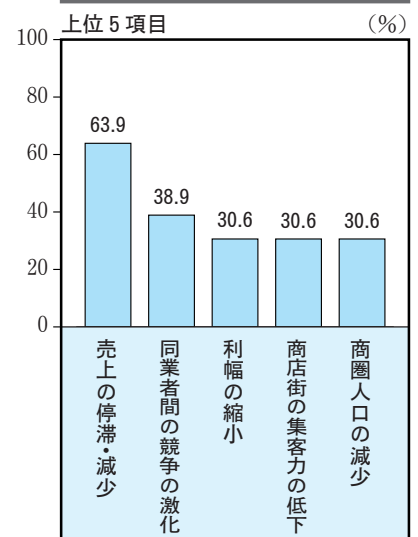
◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 |
|---------|-------|------|------|--------|-------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 |
| 残 業 時 間 | 増 加 | 2.9 | 8.8 | 5.6 | 17.6 | 5.6 |
| | 不 変 | 85.7 | 82.4 | 88.8 | 70.6 | 83.3 |
| | 減 少 | 11.4 | 8.8 | 5.6 | 11.8 | 11.1 |
| 人 手 | 過 剰 | 11.1 | 9.1 | 11.1 | 2.9 | 11.1 |
| | 適 正 | 72.2 | 81.8 | 77.8 | 85.7 | 75.0 |
| | 不 足 | 16.7 | 9.1 | 11.1 | 11.4 | 13.9 |

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



サービス業 (調査先企業 30 社 うち回答企業 27 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**11.1%**（前期**19.2%**）、悪かったとする企業は**40.7%**（前期**50.0%**）で、DIは**▲29.6**（前期**▲30.8**）とほぼ前期同様の悪化幅で推移した。

各指標別で見ると、売上額のDIは**▲37.1**（前期**▲27.0**）、収益のDIは**▲51.9**（前期**▲30.8**）と、それぞれ**10.1**ポイント、**21.1**ポイント悪化し2期連続減少を強めた。仕入価格のDIは**▲11.1**（前期**▲23.1**）で価格が上昇した企業の割合は減少した。料金価格のDIは**▲7.4**（前期**▲3.9**）で価格が下降した企業の割合はわずかに増加した。

資金繰りのDIは**▲25.9**（前期**▲23.1**）と**2.8**ポイント厳しさを増した。借入れをした企業は**22.2%**（前期**34.6%**）、設備投資の実施をした企業は**18.5%**（前期**26.9%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲7.4**（前年同期**▲44.5**）、収益はDI**▲18.5**（前年同期**▲29.6**）と、それぞれ**37.1**ポイント、**11.1**ポイント改善した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、DI**▲33.3**（今期**▲29.6**）と**3.7**ポイント減少、悪化幅が拡大すると予想している。

各指標別で見ると、売上額のDIは**▲14.8**（今期**▲37.1**）、収益のDIは**▲11.1**（今期**▲51.9**）と、それぞれ**22.3**ポイント、**40.8**ポイント改善を予想している。仕入価格・料金価格は上昇が少し強まる見通しである。資金繰りのDIは**▲25.9**（今期**▲25.9**）と今期同様の悪化幅で推移する見通しである。借入れを予定している企業は**25.9%**（今期実施**22.2%**）と増加する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は**36.7%**（今期実施**18.5%**）と今期より増加する見通しである。

◆DI指数推移

(%)

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 |
|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 |
| 業 況 | ▲55.6 | ▲48.0 | ▲15.4 | ▲30.8 | ▲29.6 | ▲33.3 |
| 売 上 額 | ▲44.5 | ▲7.7 | 11.5 | ▲27.0 | ▲37.1 | ▲14.8 |
| 収 益 | ▲48.2 | ▲11.6 | 3.8 | ▲30.8 | ▲51.9 | ▲11.1 |
| 料 金 価 格 | 3.7 | 11.6 | 3.8 | ▲3.9 | ▲7.4 | 11.1 |
| 材 料 価 格 | ▲48.1 | ▲38.5 | ▲34.7 | ▲23.1 | ▲11.1 | ▲14.8 |
| 資 金 繰 り | ▲34.6 | ▲27.0 | ▲3.8 | ▲23.1 | ▲25.9 | ▲25.9 |

◆借入金の動き・難易度 (有効回答に占める割合)

(%)

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|-----------|-------|------|------|--------|-------|------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | |
| 借 入 実 施 | した | 30.8 | 15.4 | 50.0 | 34.6 | 22.2 | 25.9 |
| | しない | 69.2 | 84.6 | 50.0 | 65.4 | 77.8 | 74.1 |
| 借 入 難 易 度 | 容 易 | 3.8 | 3.8 | 12.5 | 7.7 | 7.4 | — |
| | 不 変 | 61.6 | 73.1 | 66.6 | 69.3 | 70.4 | — |
| | 難 | 26.9 | 15.4 | 16.7 | 11.5 | 11.1 | — |
| | 該当なし | 7.7 | 7.7 | 4.2 | 11.5 | 11.1 | — |

◆設備投資の動き (有効回答に占める割合)

(%)

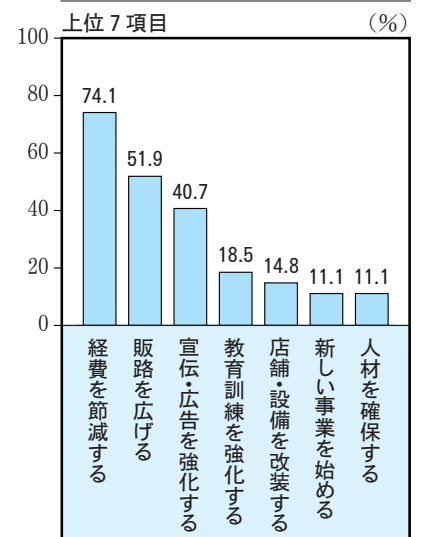
| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|-----|-------|------|-------|--------|-------|------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | |
| 実 施 | した | 20.7 | 21.4 | 34.5 | 26.9 | 18.5 | 36.7 |
| | しない | 79.3 | 78.6 | 65.5 | 73.1 | 81.5 | 63.3 |
| 状 況 | 過 剰 | 7.7 | 3.8 | 3.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 適 正 | 76.9 | 88.5 | 80.8 | 96.0 | 88.9 | 92.6 |
| | 不 足 | 15.4 | 7.7 | 15.4 | 4.0 | 11.1 | 7.4 |
| DI | ▲7.7 | ▲3.9 | ▲11.6 | ▲4.0 | ▲11.1 | ▲7.4 | |

◆雇用面の動き (有効回答に占める割合)

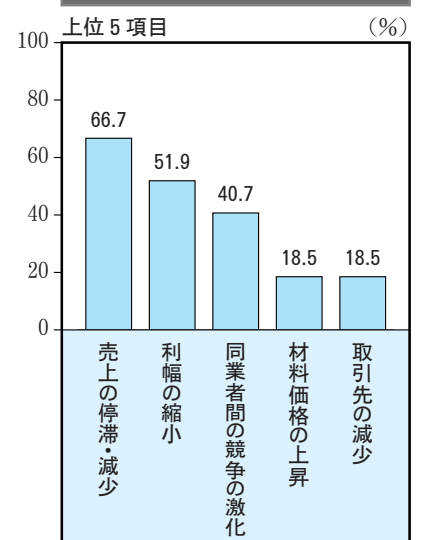
(%)

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|---------|-------|------|------|--------|-------|------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | |
| 残 業 時 間 | 増 加 | 0.0 | 11.5 | 16.0 | 20.8 | 11.5 | 15.4 |
| | 不 変 | 73.1 | 65.4 | 76.0 | 75.0 | 69.3 | 69.2 |
| | 減 少 | 26.9 | 23.1 | 8.0 | 4.2 | 19.2 | 15.4 |
| 人 手 | 過 剰 | 22.2 | 11.5 | 0.0 | 0.0 | 18.5 | 18.5 |
| | 適 正 | 55.6 | 73.1 | 61.5 | 72.0 | 66.7 | 55.6 |
| | 不 足 | 22.2 | 15.4 | 38.5 | 28.0 | 14.8 | 25.9 |

重点経営施策 (複数回答)



経営上の問題点 (複数回答)



不動産業 (調査先企業6社 うち回答企業6社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**50.0%**（前期**20.0%**）、悪かったとする企業は**16.7%**（前期**40.0%**）で、DIは**33.3**（前期**▲20.0**）とプラスに転じた。

各指標別で見ると、売上額のDIは**33.3**（前期**▲40.0**）と**73.3**ポイント上昇した。収益のDIは**33.3**（前期**0.0**）と**33.3**ポイント上昇した。販売価格のDIは**0.0**（前期**▲20.0**）と**20.0**ポイント上昇した。仕入価格のDIは**16.7**（前期**50.0**）と**33.3**ポイント減少し価格の下降を弱めた。借入れをした企業は**33.3%**（前期**20.0%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI**10.0**（前年同期**0.0**）、収益はDI**10.0**（前年同期**0.0**）とそれぞれ落ち着いた状態となっている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについてはDI**16.6**（今期**33.3**）と増勢の後退を予想している。

各指標別で見ると、売上額のDIは**▲16.7**（今期**33.3**）、収益のDIは**▲16.7**（今期**33.3**）とそれぞれ増加から減少に転じると予想している。販売価格のDIは**▲16.6**（今期**0.0**）と価格の下降を強める予想をしている。仕入価格のDIは**33.3**（今期**16.7**）と価格の下降を強める予想をしている。借入れを予定している企業は**16.7%**（今期実施**33.3%**）となっている。

◆DI指数推移

（%）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 |
|---------|-------|-------|------|--------|-------|-------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 |
| 業 況 | ▲40.0 | ▲25.0 | 0.0 | ▲20.0 | 33.3 | 16.6 |
| 売 上 額 | ▲20.0 | 0.0 | 20.0 | ▲40.0 | 33.3 | ▲16.7 |
| 収 益 | ▲20.0 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 33.3 | ▲16.7 |
| 販 売 価 格 | ▲20.0 | 0.0 | 0.0 | ▲20.0 | 0.0 | ▲16.6 |
| 仕 入 価 格 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 16.7 | 33.3 |
| 在 庫 | ▲20.0 | 0.0 | 0.0 | ▲20.0 | 0.0 | 0.0 |
| 資 金 繰 り | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 20.0 | 33.3 | 16.7 |

◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

（%）

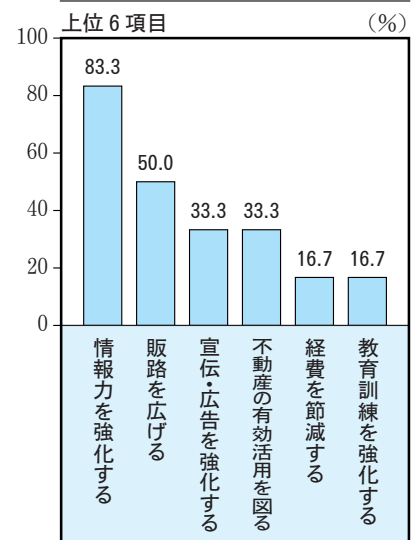
| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 | |
|-----------|-------|------|-------|--------|-------|------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 | |
| 借 入 実 施 | した | 20.0 | 0.0 | 20.0 | 20.0 | 33.3 | 16.7 |
| | しない | 80.0 | 100.0 | 80.0 | 80.0 | 66.7 | 83.3 |
| 借 入 難 易 度 | 容 易 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 20.0 | — |
| | 不 変 | 75.0 | 66.7 | 50.0 | 50.0 | 40.0 | — |
| | 難 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — |
| | 該当なし | 25.0 | 33.3 | 50.0 | 0.0 | 40.0 | — |

◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

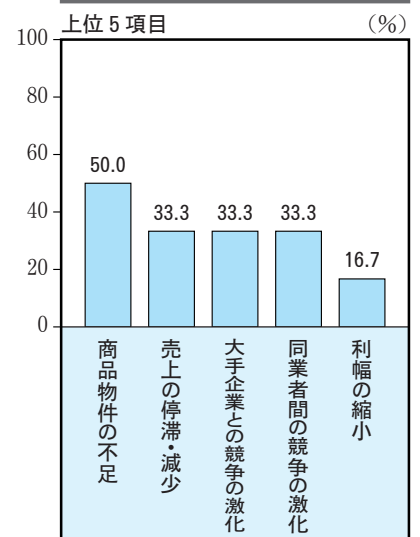
（%）

| | 平成27年 | | | | 平成28年 | 予 想 |
|---------|-------|-------|-------|--------|-------|------|
| | 1~3月 | 4~6月 | 7~9月 | 10~12月 | 1~3月 | 4~6月 |
| 残 業 時 間 | 増 加 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 不 変 | 75.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 80.0 |
| | 減 少 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 |
| 人 手 | 過 剰 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 適 正 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 80.0 |
| | 不 足 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 |

重点経営施策（複数回答）



経営上の問題点（複数回答）



特別調査 中小企業の将来を見据えた事業承継について

問 1 貴社の社長(代表者)の年齢階層はいずれに属しますか。また、貴社の後継者問題についてもお答えください。

【社長の年齢階層】総合では、「60歳代」が39.2%と一番多く、次いで「50歳代」23.2%、「40歳代」17.7%、「70歳代以上」16.6%の順になっている。業種別に見てもほぼ同様となっているが、『60歳代以上』（「60歳代」、「70歳代以上」の合計）を見ると、不動産業83.3%、建設業63.4%が高い割合となっている。

【後継者について】総合では、「まだ考えていない」が33.5%と一番多く、次いで「後継者はすでに決まっている」31.8%、「後継者はいるが、まだ決まっていない」18.8%、「候補者が見当たらない」10.2%の順になっている。約半数の企業は『後継者がいる』（「後継者はすでに決まっている」、「後継者はいるが、まだ決まっていない」の合計）と回答しているが、約3分の1の企業は後継者についてまだ考えていない。（%）

| 社長の年齢階層 | 総合 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 不動産業 |
|-----------------------------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 1. 20歳代、30歳代 | 3.3 | 8.1 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 |
| 2. 40歳代 | 17.7 | 24.2 | 7.3 | 30.0 | 8.4 | 26.9 | 16.7 |
| 3. 50歳代 | 23.2 | 14.5 | 29.3 | 30.0 | 33.3 | 23.1 | 0.0 |
| 4. 60歳代 | 39.2 | 35.5 | 58.5 | 20.0 | 33.3 | 34.6 | 33.3 |
| 5. 70歳代以上 | 16.6 | 17.7 | 4.9 | 20.0 | 22.2 | 15.4 | 50.0 |
| 後継者について | 総合 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 不動産業 |
| 6. 後継者はすでに決まっている | 31.8 | 35.6 | 29.3 | 50.0 | 32.4 | 19.2 | 33.3 |
| 7. 後継者はいるが、まだ決まっていない | 18.8 | 23.7 | 19.5 | 10.0 | 8.8 | 19.2 | 33.3 |
| 8. 候補者が見当たらない | 10.2 | 3.4 | 17.1 | 10.0 | 17.6 | 7.7 | 0.0 |
| 9. まだ考えていない | 33.5 | 35.6 | 31.7 | 30.0 | 29.4 | 42.3 | 16.7 |
| 10. 後継者は必要ない(事業譲渡希望、廃業予定など) | 5.7 | 1.7 | 2.4 | 0.0 | 11.8 | 11.6 | 16.7 |

問 2 貴社の現時点における事業承継の考え方についてお答えください。

総合では、「子供(娘婿などを含む)に承継」が49.1%と一番多く、次いで「現時点で、考えるつもりはない」22.3%、「非同族の役員、従業員に承継」10.6%、「現在の事業を継続するつもりがない」6.1%、「その他の同族者(兄弟、親戚など)に承継」5.6%の順になっている。約半数の企業は「子供(娘婿などを含む)に承継」を考えている。（%）

| | 総合 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 不動産業 |
|------------------------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 1. 子供(娘婿などを含む)に承継 | 49.1 | 57.4 | 51.2 | 50.0 | 42.8 | 38.5 | 33.2 |
| 2. その他の同族者(兄弟、親戚など)に承継 | 5.6 | 6.5 | 4.9 | 10.0 | 5.7 | 0.0 | 16.7 |
| 3. 非同族の役員、従業員に承継 | 10.6 | 19.7 | 9.8 | 0.0 | 0.0 | 11.5 | 0.0 |
| 4. 非同族の社外の人材に承継 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 3.8 | 16.7 |
| 5. M&A(第三者への事業譲渡)等 | 0.6 | 1.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 6. 忙しくて考える余裕がない | 1.7 | 0.0 | 4.9 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 7. 何から手をつけて良いかわからない | 1.7 | 0.0 | 4.9 | 0.0 | 2.9 | 0.0 | 0.0 |
| 8. 身近に相談相手がいない | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 0.0 | 0.0 |
| 9. 現時点で、考えるつもりはない | 22.3 | 14.8 | 21.9 | 30.0 | 34.3 | 23.1 | 16.7 |
| 10. 現在の事業を継続するつもりがない | 6.1 | 0.0 | 2.4 | 0.0 | 8.5 | 23.1 | 16.7 |

問 3 事業承継に関し、情報や知識の入手先についてお答えください。【複数回答】

総合では、「専門家(税理士等)」が37.2%と一番多く、次いで「特になし」28.4%、「取引先金融機関」21.9%、「新聞・書籍」16.9%、「取引先企業」12.6%、「商工会議所・商工会」11.5%の順になっている。やはり、一番の入手先は事業承継に関する専門知識を持った専門家(税理士等)となっている。（%）

| | 総合 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 不動産業 |
|----------------------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 1. 新聞・書籍 | 16.9 | 20.6 | 4.9 | 20.0 | 16.7 | 29.6 | 0.0 |
| 2. インターネット | 9.8 | 7.9 | 7.3 | 10.0 | 13.9 | 14.8 | 0.0 |
| 3. 取引先金融機関 | 21.9 | 25.4 | 19.5 | 20.0 | 22.2 | 22.2 | 0.0 |
| 4. 商工会議所・商工会 | 11.5 | 4.8 | 22.0 | 10.0 | 16.7 | 7.4 | 0.0 |
| 5. 国・地方公共団体およびその外郭団体 | 1.6 | 3.2 | 0.0 | 10.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 6. 専門家(税理士等) | 37.2 | 46.0 | 39.0 | 40.0 | 27.8 | 25.9 | 33.3 |
| 7. 取引先企業 | 12.6 | 12.7 | 14.6 | 0.0 | 13.9 | 11.1 | 16.7 |
| 8. コンサルタント企業 | 7.1 | 12.7 | 9.8 | 0.0 | 0.0 | 3.7 | 0.0 |
| 9. その他 | 1.6 | 3.2 | 0.0 | 0.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 |
| 10. 特になし | 28.4 | 19.0 | 24.4 | 30.0 | 38.9 | 33.3 | 66.7 |

問 4 貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。【複数回答】

総合では、「事業の将来性」が68.3%、次いで「取引先との信頼関係の維持」33.9%、「後継者の力量不足」19.7%、「借入に際しての個人保証・担保」10.9%、「先代経営者の影響力」9.3%の順になっている。「事業の将来性」の回答率の高さから企業の将来を見据えた事業承継を重要視しているのがはっきりと分かる。(%)

| | 総合 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 不動産業 |
|-------------------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 1. 事業の将来性 | 68.3 | 55.6 | 78.0 | 50.0 | 88.9 | 66.7 | 50.0 |
| 2. 取引先との信頼関係の維持 | 33.9 | 38.1 | 31.7 | 50.0 | 36.1 | 22.2 | 16.7 |
| 3. 社員の不平・不満 | 2.7 | 3.2 | 2.4 | 10.0 | 2.8 | 0.0 | 0.0 |
| 4. 先代経営者の影響力 | 9.3 | 7.9 | 12.2 | 0.0 | 13.9 | 7.4 | 0.0 |
| 5. 後継者の力量不足 | 19.7 | 15.9 | 24.4 | 10.0 | 27.8 | 18.5 | 0.0 |
| 6. 借入に際しての個人保証・担保 | 10.9 | 11.1 | 7.3 | 10.0 | 8.3 | 22.2 | 0.0 |
| 7. 相続税などの税金対策 | 7.7 | 11.1 | 4.9 | 20.0 | 5.6 | 0.0 | 16.7 |
| 8. 自社株など個人資産の取扱い | 7.1 | 9.5 | 7.3 | 10.0 | 8.3 | 0.0 | 0.0 |
| 9. 特になし | 7.7 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.8 | 50.0 |
| 10. その他 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

問 5 中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについてお答えください。

総合では、信用金庫に対して「個別相談」20.0%、「後継者教育・セミナー等」18.8%、「早期の事業承継の準備への助言等」12.6%が多い期待となっているが、「自社の問題であるため自社で解決」15.4%、「特に期待していない」14.9%との回答もある。全企業の中で7割近くの企業は信用金庫に対して、何らかの期待・対応を望んでいることが分かる。(%)

| 対応度合い | 総合 | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 不動産業 |
|----------------------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 1. 後継者教育・セミナー等 | 18.8 | 20.3 | 20.0 | 22.2 | 17.1 | 15.4 | 16.7 |
| 2. 個別相談 | 20.0 | 16.9 | 25.0 | 33.3 | 14.3 | 26.9 | 0.0 |
| 3. 専門家(税理士等)の紹介 | 4.0 | 6.8 | 2.5 | 0.0 | 2.9 | 3.8 | 0.0 |
| 4. 事業譲渡先の紹介 | 2.8 | 3.4 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 7.7 | 0.0 |
| 5. 事業承継前後の個人保証・担保の対応 | 8.6 | 8.5 | 12.5 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 |
| 6. 早期の事業承継の準備への助言等 | 12.6 | 11.9 | 10.0 | 0.0 | 11.4 | 23.1 | 16.7 |
| 7. 承継後の事業計画の策定への助言等 | 0.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 0.0 | 0.0 |
| 8. 自社の問題であるため自社で解決 | 15.4 | 15.2 | 17.5 | 33.3 | 11.4 | 11.5 | 16.7 |
| 9. 特に期待していない | 14.9 | 13.6 | 7.5 | 11.2 | 25.7 | 7.7 | 49.9 |
| 10. その他 | 2.3 | 3.4 | 2.5 | 0.0 | 0.0 | 3.9 | 0.0 |

| 商品のご案内 | |
|------------|--|
| お使いみち | ご自由(事業性資金もOK!) |
| お申込みいただける方 | <ul style="list-style-type: none"> ●満20歳以上、完済時75歳以下の個人または個人事業主の方 ●当金庫の営業地域内に居住または勤務されている方 ●安定継続した収入のある方(パート、アルバイト、年金収入の方もOK) ●世帯収入のある専業主婦(夫)の方 |
| ご融資金額 | 10万円以上300万円以下(1万円単位) |
| ご融資利率 | <ul style="list-style-type: none"> ●年9.0%(保証料を含む) 固定金利 ●保証会社の審査により年9.0%でお取扱できない場合は、固定金利年13.5%(保証料込)のタイプで同時手続きさせていただきます。 |
| ご融資期間 | 6ヶ月以上7年以内 |
| ご返済方法 | <ul style="list-style-type: none"> ●元利均等定額返済(ご返済日は毎月6日・16日のいずれかの日となります) ●お申込金額の50%以内についてボーナス併用返済もご座います。 |
| 担保・保証人 | 不要 [※クレジットの保証付] |

●詳しくは当金庫各支店窓口までお問い合わせください。
●店頭商品概要説明書をご用意しております。
●審査結果によってはお申込金額の減額またはご希望に添えない場合があります。